

# 『評価からはじめるまちづくり！2011』（第3班）

施策名	自治の確立を目指す取組みの強化		
対象	市民・行政	成果指標	市に移譲された事務数
意図	自律した行政運営ができる		
参加者	古川唯男, 亀田愛里菜, 鷹木友樹, 多田恭子, 村上公一, 川村博		

## グループワークⅠ

理由など (丸囲みの数字=項目ごとの5段階評価の点数)	市民の評価
<p><b>情報のやりとり</b></p> <p>【目的】 ニーズの把握が不十分②</p> <p>【手段】 ただ単に情報を送られても見ようとは思わない。引き付ける「何か」も必要なのでは…③</p> <p>広報等、高齢者向け、子ども向けの工夫が欲しい③</p> <p>市が何を指して事務移譲を推進しているかよく分からない②</p> <p>情報開示が不十分③</p> <p>住民の要望を積極的に聴き、姿勢を示して欲しい②</p> <p>勉強会を増やして欲しい④</p> <p>バスなどを使えば市役所へ行く手段があるが、車で簡単にいけるという感覚はない(駐車場も非常に混む)②</p> <p><b>環境の変化への対応</b></p> <p>ITが発展するなかで充分な活用による工夫がなされていない②</p> <p>交通環境を勘案したサービスの反映が不十分①</p> <p><b>民間の活用</b></p> <p>民間活用によるアイデアが不足②</p> <p>財政の確立なくしてサービスなし。商売・経営感覚を磨いて欲しい②</p> <p>殆どの自治体でも民間人の登用をしながらない。OBの登用が多い。民間人を信用していないのか？②</p> <p><b>インフラ</b></p> <p>通学路線(車道兼用)の道路と配水路の境界にガードレールを(特に子どもの安全を)②</p> <p>下水道建設の促進(残っている分の工事目標期日の明記)①</p> <p>自転車通行帯は自転車に対する規制の強化が予想される。もっと増えたらなお良い④</p> <p><b>職員</b></p> <p>【対応】 分庁舎へ行った際、そこの人々はとても親切な対応で良かったが、建物自体は暗く入りにくい雰囲気職員⑤、建物④</p> <p>様々な課に電話する機会があったが、皆とても良い対応してくれた⑤</p> <p>市役所の窓口で国保の手続きをした際に、青山でも手続きができるなどの説明があり親切だと思った⑤</p> <p>国保の手続きが市役所だけでなく、青山でもできるというのはサービスの向上につながっている⑤</p> <p>分権もあるが集約してもよいものがある。仕事の見直し③</p> <p><b>【評価】</b></p> <p>災害、経済市や議員に危機感が感じられない①</p> <p>主張は選挙次第で変わるの、エキスパートである職員が努力すべし③</p> <p>公序良俗に反しない限り職員は保護されている(あぐらをかいている)①</p> <p>職員は株式会社盛岡市の幹部であり、市民を守る①</p> <p>ある種、エリート集団であるから、アイデアをもっと出して欲しい②</p> <p>信頼と行動あるのみ③</p> <p>広域行政も必要であるが、盛岡市の合併促進も(50万都市造り目標)③</p>	<p>2</p> <p>市の評価</p> <p>3</p>

## グループワークⅡ

成果指標
<p><b>市民</b></p> <p>市民満足度対収支改善率</p> <p>市役所までの距離を遠いと感じる人の数</p> <p>市の職員に盛岡の自治を任せて安心だと思える人の数</p> <p>市の行政全体に対する市民の満足度</p> <p><b>職員</b></p> <p>職員の仕事に対する満足度</p> <p>市の職員においてもっと市に事務が移譲されるべきだと感じている割合</p> <p><b>情報</b></p> <p>「もりおか」を読んでいる人の数</p> <p>市のHPを見たことがある人の割合</p> <p>情報のやりとりについて市民アンケート調査「広報誌に掲載してほしい情報は何か」</p> <p><b>財政関係</b></p> <p>財政の安定が重要、オンブズマン等に自発的に依頼する</p> <p>若い世代の生活保護を減らすよう職場を積極的に今以上行う。</p> <p>経費的に対前年の節減額</p> <p><b>市民ニーズ</b> (別紙①)</p> <p><b>満足度</b></p> <p><b>民間との関わり</b></p> <p>民間の活用について市民アンケート調査「市政に民間人を登用した方がよい」と答えた人の割合</p> <p>民間への業務の委託作業の数</p> <p><b>市と県との関係</b></p> <p>「市役所と県庁の業務のちがいを答えられる」という人の数</p> <p>生活上で自律した行政運営ができていて実感している割合</p> <p>県が行う事務のうち盛岡市に関わる事務数と盛岡市が行っている事務数の比較</p> <p>県と市の重複作業の統合作業数</p> <p>市民における市に移譲された事務数の認知度</p> <p>交通環境を不便だと感じた人の割合</p> <p>他市町村(隣接)と統合した業務件数</p> <p>各施策成果指標の達成した割合(又は件数)</p> <p>高い広域的視野でマネジメントできる人材育成数</p> <p>「将来、盛岡で働きたい」と答えた人の割合</p> <p>「自分のなりたい将来の夢にあった進学先が存在するか」にあると答えた人の割合</p> <p><b>その他意見</b> (別紙②)</p> <p>他の市町村との行政運営との比較</p>

## 『評価からはじめるまちづくり！2011』（第3班）

### 【別紙】

#### ① 市民ニーズに関する意見

- ・町内会にあっても地域性があり、なかなか本音はまともでない地区が多いようである。高齢化社会と地域コミュニティを活発に啓発する。ある意味活動の数の多さではなく、弱い立場の方々を適当な距離を保ちつつ活発に行う。災害、自殺等防止
- ・市役所の中でどのように進行（事業）が行われているか、市民は全く理解出来ない。よって、信頼を最大限に得ることが第一と考える。総合職と言うことで何年毎かに異動するが、セクションの専門が存在しても良いのではないか。不正の防止の為に異動する場合もあるが。どのような施策も第三者機関に数値化してもらった方が良いと思う。
- ・箱物の見直し、震度7強にも耐えたので耐用年数はあるのではないかな？
- ・盛南開発区域の道路と、区域外の道路の整合性はどんな方法があるか。
- ・盛南開発区域＝交通安全対策！46号線の地下道は車道接続部分で安全確認の妨げになっていないか。
- ・防災体制はどんな方法を考えておいでになるか、またその対策を。

#### ② その他の意見

- ・行政の数値は大変困難、同規模の市と比較しても環境が異なるため比較にはならない。サービスという抽象的な部分もあり、良いと思う人、そうでない人が発生する。いろいろな施策や行政サービスにおいて、これで良いというゴールが明確でない。お客様は多種多様であり満足度も異なる。製造業、営業と異なり、成果が見えにくい。結論 民間の専門家に評価してもらおう。（全員）職員は頑張っていると言うでしょう。規模が異なっても岩手県の市町村の一定の指標を盛岡市がリーダーとなり作成し、統一出来る部分を数値化する。